



命・絆・元気の道

そして東紀州をひとつに

紀勢自動車道・熊野尾鷲道路の ストック効果

令和5年10月

東紀州地域高速道路整備効果検討会



三重県



尾鷲市



熊野市



紀北町



御浜町



紀宝町



中日本高速道路(株)



国土交通省



～目 次～

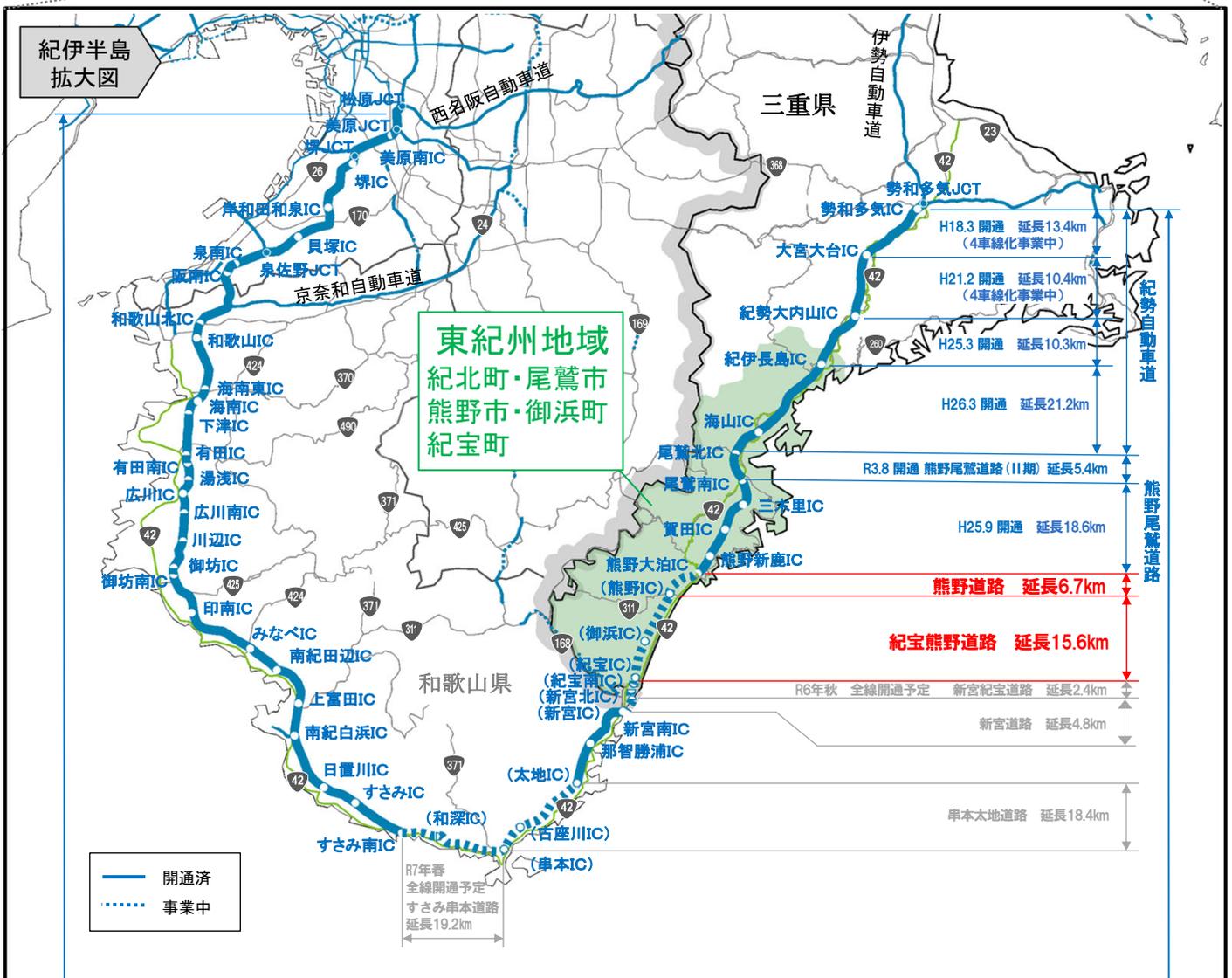
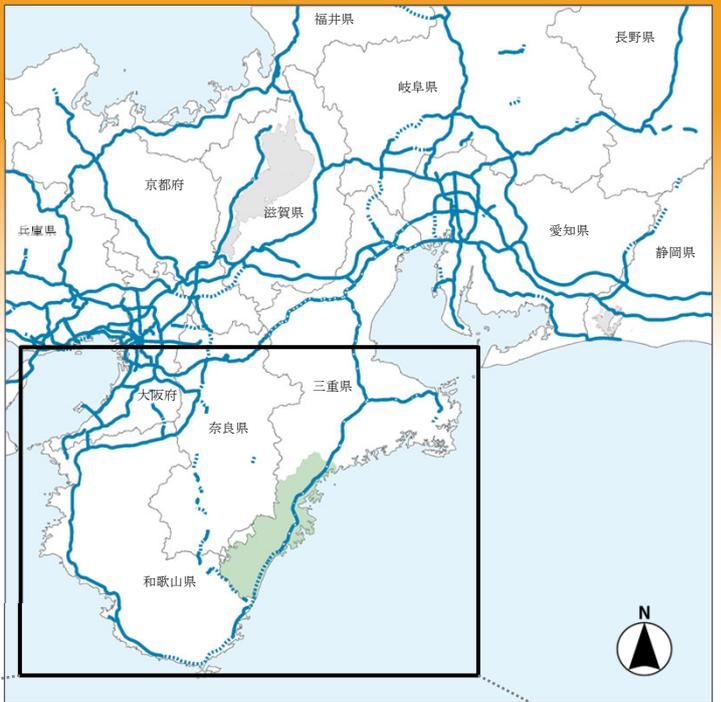
～紀伊半島をぐるっとつなぐ近畿自動車道紀勢線～ 東紀州地域がぐっと近くに！	・・・・・・・・ P 3
～ネットワーク形成による交通量の増加～ 高速道路の開通に伴い地域間交流が活発に！	・・・・・・・・ P 4
～安全・安心な道路利用に～ 高速道路の延伸に伴い交通事故が年々減少！	・・・・・・・・ P 5
～都市部から多くの観光客がわが町に～ 観光入込客数 5 年連続200万人突破！	・・・・・・・・ P 6
～都市部からの日帰り観光圏域が拡大～ 滞在時間が増加し消費額も増加！	・・・・・・・・ P 7
～より多くの立ち寄りや周遊観光が可能に～ 観光地へのツアーバスの立ち寄りが増加！	・・・・・・・・ P 8
～大自然を求め予約困難な人気施設に～ キャンプ場の売上げが過去最高を記録！	・・・・・・・・ P 9
～アクセス向上により気軽に大迫力の花火を体感～ 人気の花火大会に県外からの来場者が増加！	・・・・・・・・ P 10
～ニューノーマルな旅をサポート～ 道の駅と連携して周遊観光の拠点を形成！	・・・・・・・・ P 11
～遠方からの観光客が増加～ コロナ禍でもアウトドアで楽しめるレジャー施設が人気！	・・・・・・・・ P 12
～長年、地域を悩ませた大雨による災害～ 陸の孤島からの脱却！	・・・・・・・・ P 13
～南海トラフ地震への備え～ 津波から地域住民の“いのち”を守る！	・・・・・・・・ P 14
～熊野道路の早期開通に期待～ 通行止により日常生活に大打撃！	・・・・・・・・ P 15



～高度な医療でバトンタッチ～ “いのちのリレー”をバックアップ！	・・・・・・・・ P 16
～救急搬送の選択肢が拡大～ “いのち”をまもるため適切な医療を！	・・・・・・・・ P 17
～地域企業が開通効果を実感～ 企業活動・業績がプラス！	・・・・・・・・ P 18
～地域の魅力向上を支援～ I・Uターン世帯や高校生の地元就職が増加！	・・・・・・・・ P 19
～空き家の有効活用にも寄与～ 2地域居住で豊かな暮らしが実現！	・・・・・・・・ P 20
～まちなかに多数の店舗が新規出店～ にぎわいが創出され新規求人数も増加！	・・・・・・・・ P 21
～安定供給ルートが実現し、民間投資が拡大～ 養殖ブリの国内外の販路拡大を支援！	・・・・・・・・ P 22
～荷痛み軽減・安定輸送が実現～ 三重南紀みかんの海外販路拡大を支援！	・・・・・・・・ P 23
～精密製品の安定輸送が実現～ 地方の高い技術力で日本の住宅火災を守る！	・・・・・・・・ P 24
～スポーツ交流地としてのブランド化を推進～ スポーツ交流宿泊者数が過去最高を記録！	・・・・・・・・ P 25
資料のとりまとめにあたって	・・・・・・・・ P 26

～紀伊半島をぐるっとつなぐ
近畿自動車道紀勢線～

東紀州地域が ぐっと近くに！



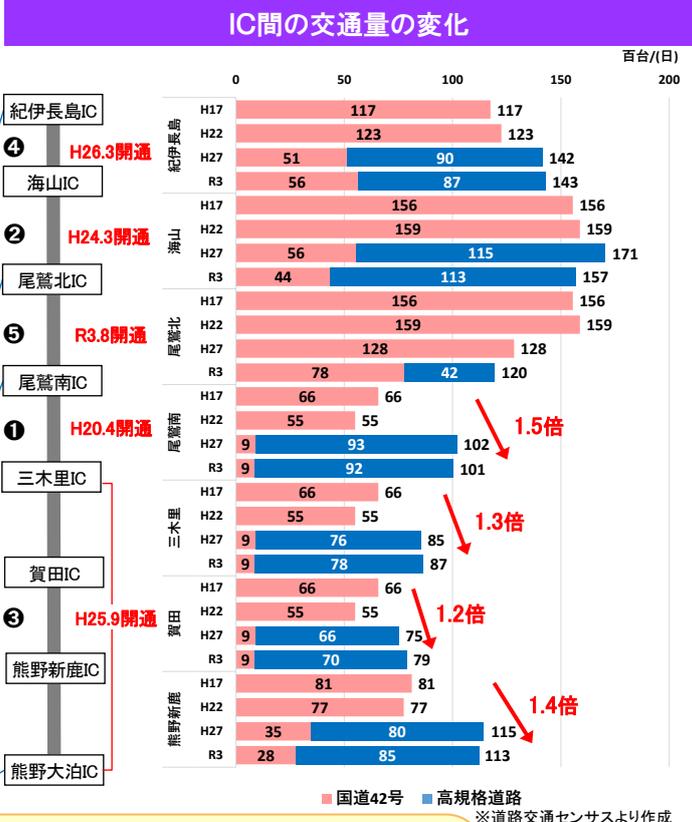
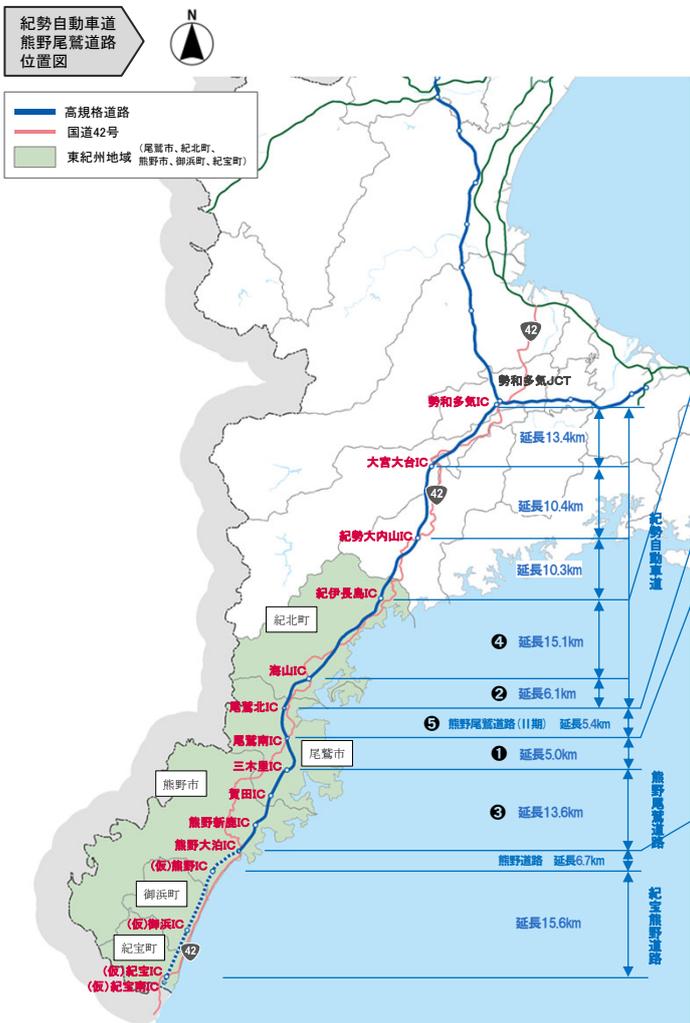
※()インターチェンジ名称は仮称
※ネットワークは令和3年8月末現在

～ネットワーク形成による交通量の増加～

高速道路の開通に伴い 地域間交流が活発に！

熊野尾鷲道路(Ⅱ期) 尾鷲南IC付近(尾鷲市)

- ◆ 紀勢自動車道・熊野尾鷲道路の開通に伴い、東紀州地域の交通量は最大1.5倍に増加。
- ◆ 移動時間が短縮したことで、特に尾鷲市～熊野市間の交通量が大幅に増加するなど、地域間交流が活発に。



・高速道路で来られるので楽でした。所要時間は以前よりも1時間は短縮したと思います。(豊田市在住)

・高速道路ができたので東紀州地域へ訪れました。高速道路がなければ遠いので来なかったと思います。(名古屋市在住)



※観光客へのヒアリング結果より作成

～安全・安心な道路利用に～

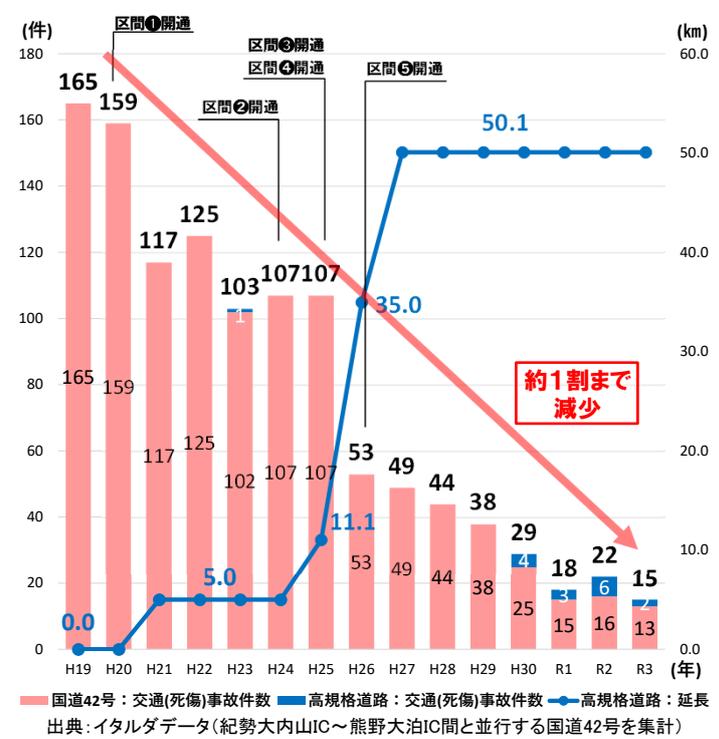
高速道路の延伸に伴い 交通事故が年々減少！

国道42号で発生した交通事故による通行止の状況(尾鷲市)

- ◆ 高速道路の延伸に伴い、交通(死傷)事故は年々減少しており、平成19年と比較し令和3年は約1割まで減少。
- ◆ 令和3年8月の熊野尾鷲道路(Ⅱ期)開通に伴い、更なる交通環境改善に期待。



高速道路整備と交通(死傷)事故件数の推移



高速道路開通に伴い、国道42号の交通事故件数が減少しました。



出典: 地元警察署へのヒアリング結果 [尾鷲警察署の声]



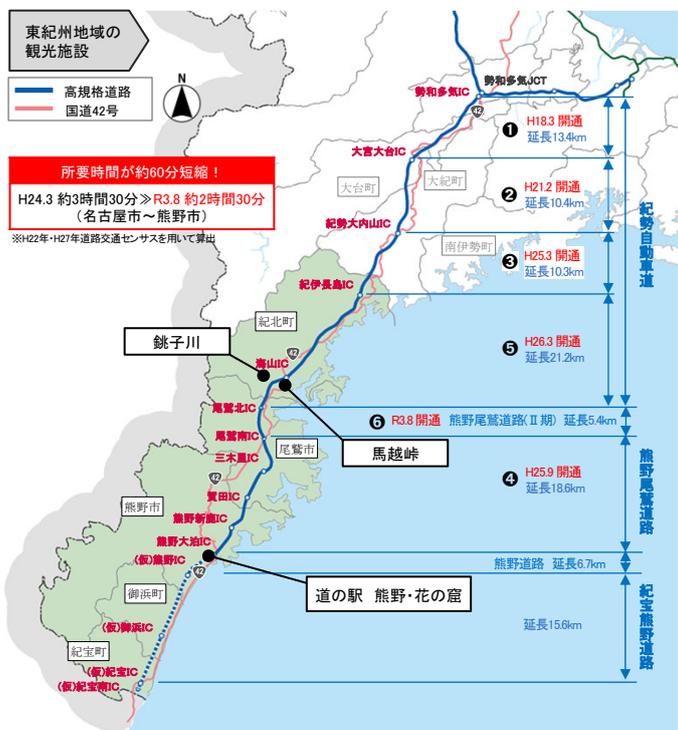
～都市部から多くの観光客がわが町に～

観光入込客数 5年連続200万人突破！

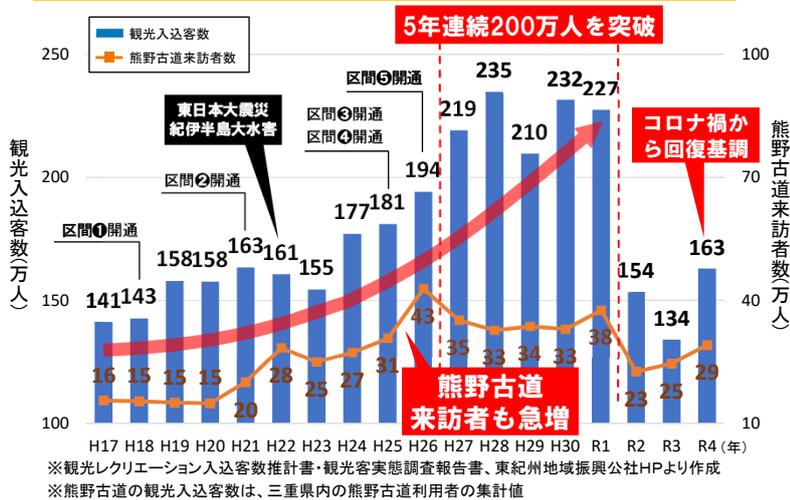


熊野古道 馬越峠を歩く観光客（紀北町）

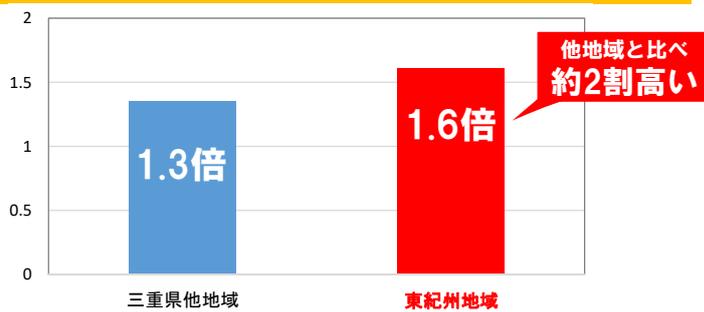
- ◆ 高速ネットワークの延長とともに、東紀州地域の観光入込客数が増加し、平成27年以降5年連続200万人を突破。
- ◆ 熊野古道の世界遺産登録10周年を経て、平成28年は過去最高の観光入込客数を記録。
- ◆ 高速道路未整備時である平成17年と紀勢自動車道全線、熊野尾鷲道路開通後の令和元年を比較すると、入込客数は約1.6倍に増加〔三重県の他地域と比べ、約2割高い伸び率〕



東紀州地域の観光入込客数の変化



入込客数の伸び率(R1年/H17年)

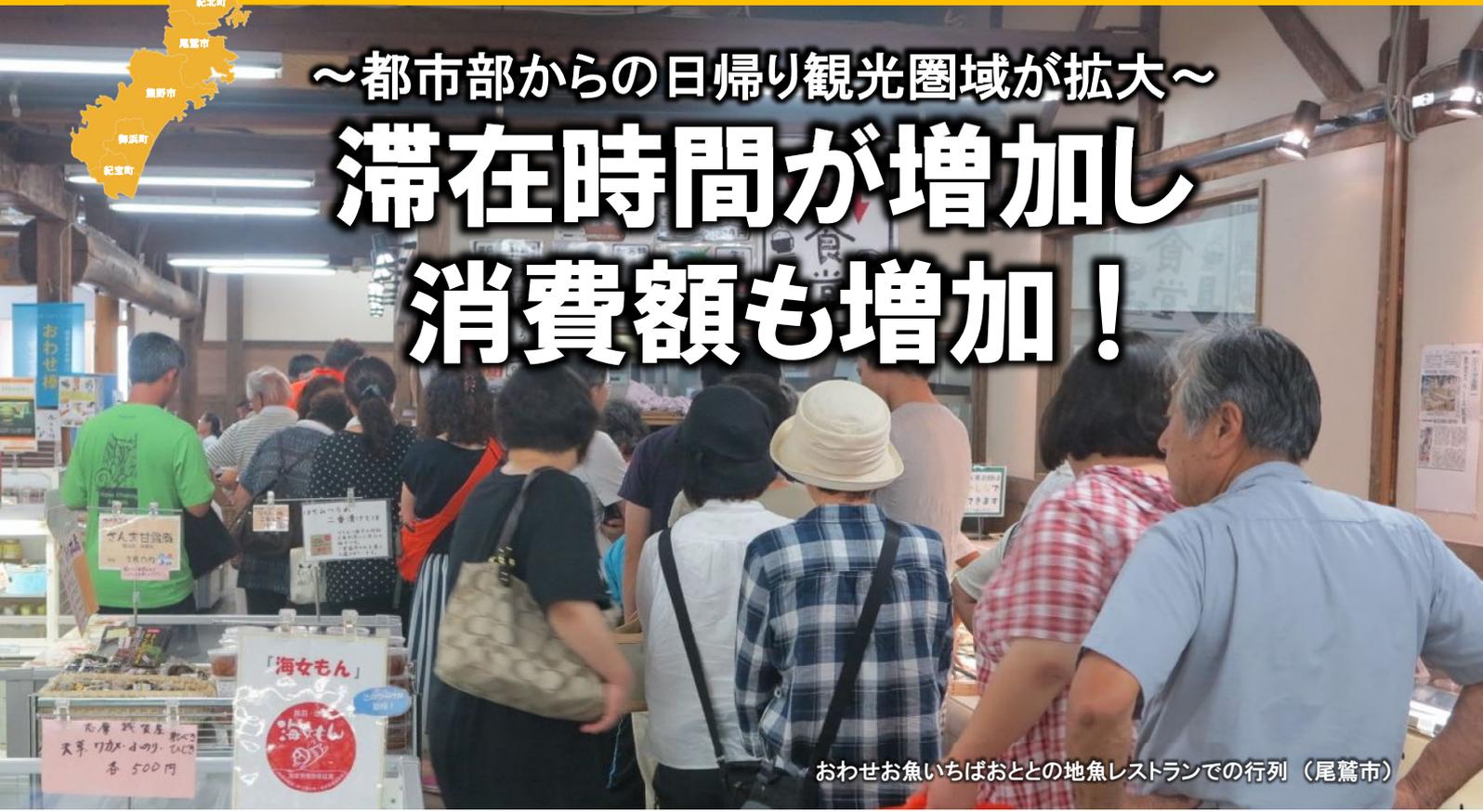


キャンプ客で賑わう清流 銚子川



観光客で賑わう 道の駅 熊野・花の窟

～都市部からの日帰り観光圏域が拡大～ 滞在時間が増加し 消費額も増加！



おわせお魚いちばおととの地魚レストランでの行列（尾鷲市）

- ❖ 東紀州地域の令和元年夏期（7月～9月）の観光入込客数は、紀勢自動車道全線開通前の平成24年と比較して、**約4.6万人増加**。
- ❖ また、名古屋市などの都市部からの所要時間短縮により、**日帰り滞在時間が約1.1倍、日帰り観光客1人当たりの消費が約1.3倍に増加**。
- ❖ その結果、令和元年夏期の日帰り観光客による消費額が、平成24年と比較して**約9億円増加**。



東紀州地域における全線開通による変化

before（開通前 平成24年）

after（開通後 令和1年）

■名古屋市から熊野市への所要時間

所要時間 **約3時間30分** → **約2時間30分** **約60分短縮**

■東紀州地域の観光入込客数(夏期)

入込客数 **約58.1万人** → **約62.7万人** **約4.6万人増加**

■東紀州地域での日帰り滞在時間

滞在時間 **約288分** → **約324分** **約1.1倍（約36分）増加**

■東紀州地域での日帰り観光客1人当たりの消費額

消費額 **約3,950円** → **約5,248円** **約1.3倍（約1,298円）増加**

夏期の日帰り観光客による消費額が開通前に比べて
約9億円増加

※所要時間は、道路交通センサス（開通前：H22、開通後：H27）より作成
 ※入込客数、滞在時間は、観光レクリエーション入込客数推計書・観光客実態調査報告書より作成
 ※消費額は夏期（7月～9月）の日帰り観光客1人当たりの消費額に入込客数・滞在種別を乗じて算出



イベントに参加する観光客で賑わう
三重県立熊野古道センター



散策する観光客で賑わう 鬼ヶ城

～より多くの立ち寄りや周遊観光が可能に～ 観光地へのツアーバスの 立ち寄りが増加！

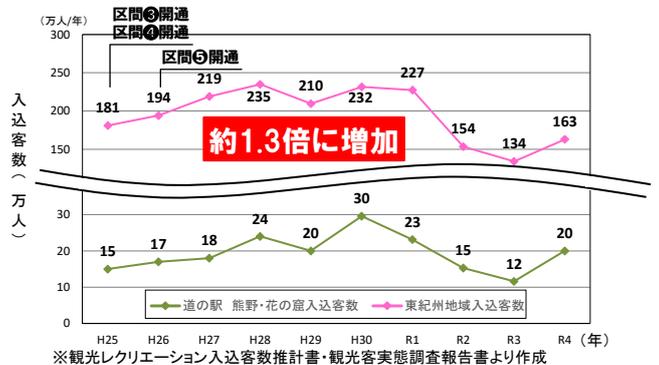


鬼ヶ城（熊野市）

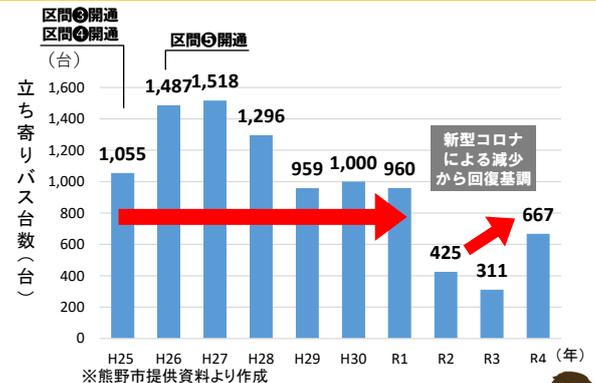
- ❖ 東紀州地域には、世界遺産「熊野古道」をはじめとした、魅力的な観光資源が多数存在。
- ❖ 東紀州地域への所要時間短縮により、滞在時間が増加し、より多くの箇所への立ち寄りや周遊観光が可能に。
- ❖ 熊野市の道の駅 熊野・花の窟では、高速道路整備中の平成25年と比較して、観光入込客数が約1.5倍（令和4年比較）、ツアーバスの立ち寄り台数は近年回復傾向にある。



道の駅 熊野・花の窟における観光入込客数の変化



道の駅 熊野・花の窟における立ち寄りバス台数の変化



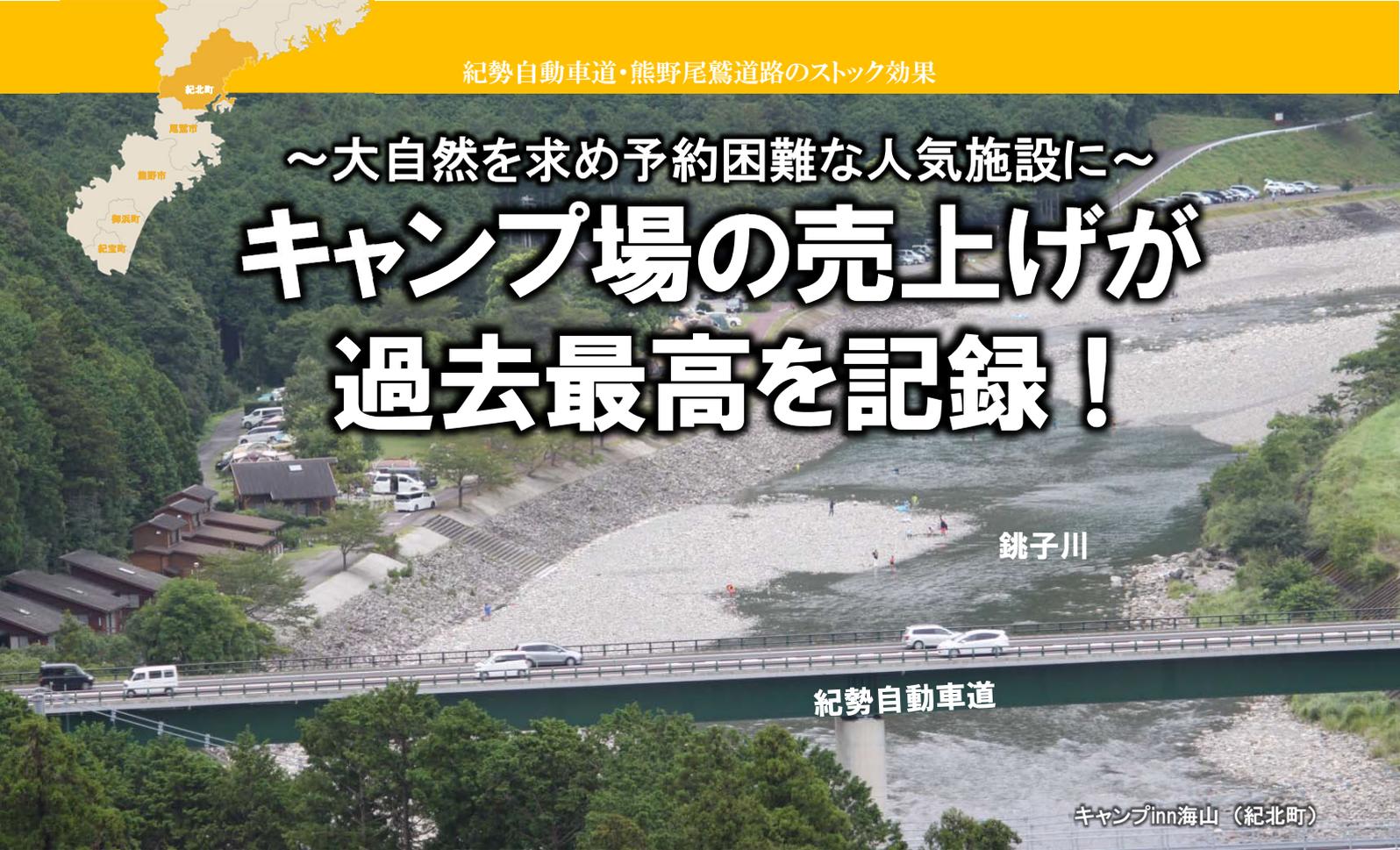
高速道路の開通により、観光施設のツアー立ち寄りバスの台数、入込客数、熊野古道を訪れる観光客が増加しています。

※紀勢国道事務所によるヒアリング調査結果より作成

熊野市観光スポーツ交流課の声

※伊勢志摩・東紀州観光入込客数：R元年観光レクリエーション入込客数推計書・観光客実態調査報告書より作成
※那智勝浦町観光入込客数：R元年和歌山県観光客動態調査結果より作成

～大自然を求め予約困難な人気施設に～ キャンプ場の売上げが 過去最高を記録！



銚子川

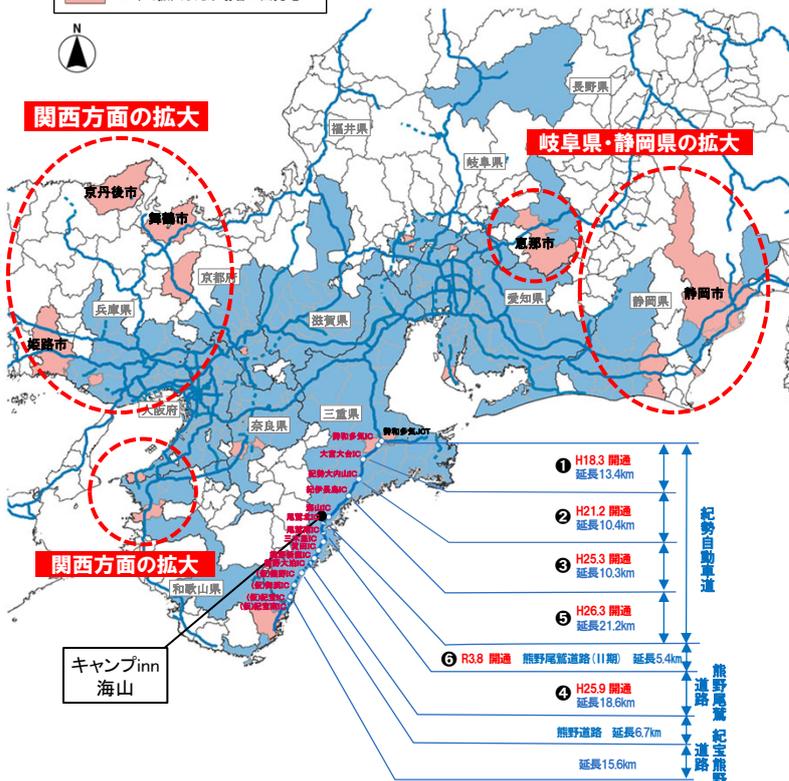
紀勢自動車道

キャンプinn海山（紀北町）

- ◆ 紀北町にあるキャンプinn海山では、高速道路の開通により**岐阜県・静岡県・関西方面**に来場圏が拡大。
- ◆ 令和元年の宿泊客数は、高速道路未整備時である平成17年と比較すると、**約2.1倍と大幅に増加**。
- ◆ また、**売上高も約2.3倍に増加し過去最高を記録**するなど、地域経済活性化を支援。

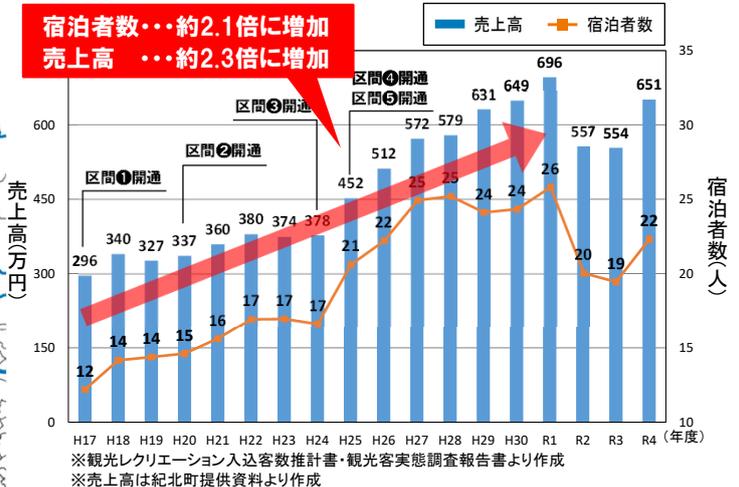
来場圏の広がり

- 高規格道路
- H24・25年 7・8月の来場者の出発地
- H26年で拡大した来場者の出発地



※R3年8月末時点の道路ネットワーク

キャンプinn海山の宿泊者数・売上高の推移



高速道路の開通効果もあり、利用者数、売上げともに過去最高となりました。予約が満杯で、7、8月の夏休みに利用できないお客様が9月に宿泊するなど、新たな傾向も出ています。



※紀勢国道事務所・紀北町によるヒアリング調査結果より作成

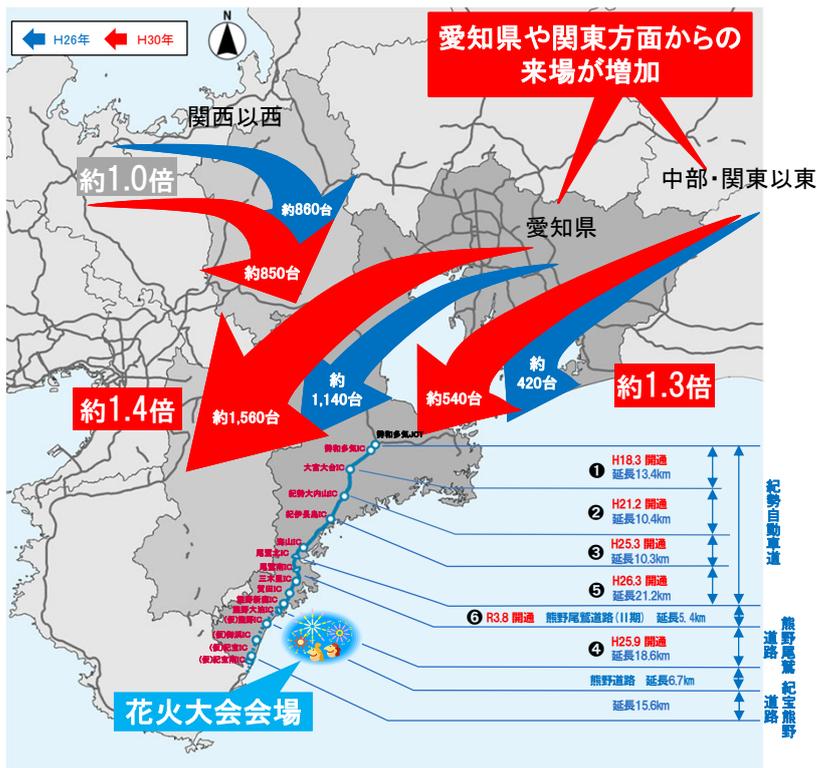
～アクセス向上により気軽に大迫力の花火を体感～

人気の花火大会に 県外からの来場者が増加！

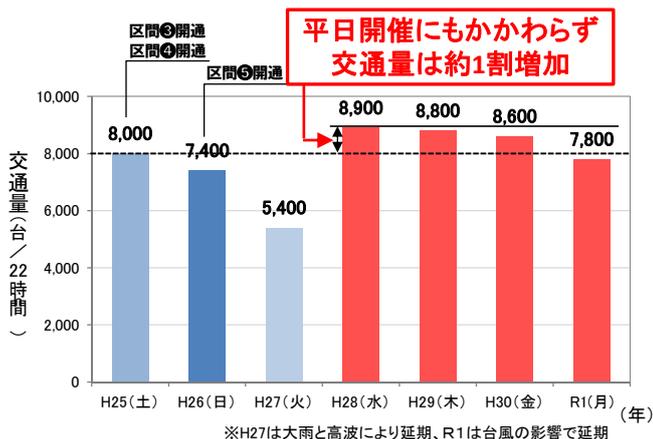
熊野大花火大会（熊野市）

- ◆ YAHOO! JAPAN2016年版「有名花火師が選ぶおすすめ花火大会厳選10選」全国第8位、「東海の人気花火大会ランキング」第3位と人気の熊野大花火大会。
- ◆ 高速道路の開通により気軽に行きやすくなったこともあり、愛知県や関東方面からの車での来場が約1.3～1.4倍に増加。
- ◆ 平成28年以降は、平日開催にもかかわらず高速道路開通前の土・日開催を超える交通量。
- ◆ 令和元年は台風のため急遽土曜日から月曜日の開催となったものの、高速道路開通前の土・日開催と同程度の交通量。

熊野大花火大会への
来場圏域 (H30年/H26年)



花火開催日の国道42号下り(和歌山方面)交通量



県内外からの車で満車となる臨時駐車場



高速道路開通後、特に関東・東海地区からの来場が増えています。
熊野道路が早期に開通することで、もっと多くの方に熊野大花火の魅力を感じていただきたいと思っています。



熊野市観光協会
会長の声

※紀勢国道事務所・熊野市によるヒアリング調査より作成

※紀勢国道事務所による尾鷲南IC入口交差点におけるナンバープレート調査結果より作成
※調査対象車両は乗用車
※R3年8月末時点の道路ネットワーク

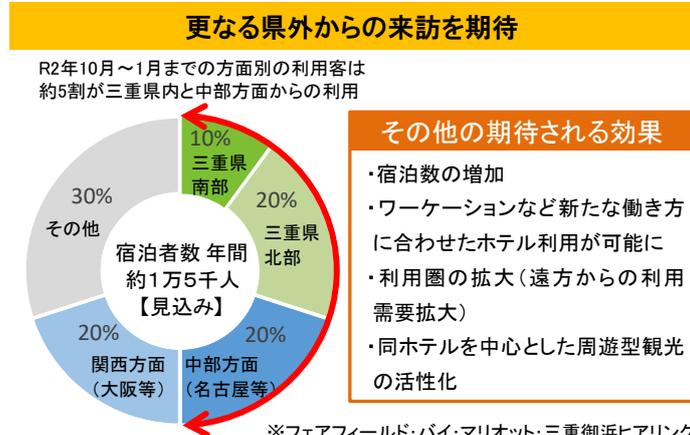
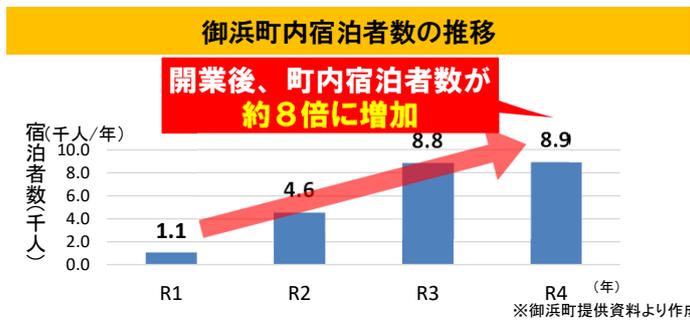


～ニューノーマルな旅をサポート～ 道の駅と連携して 周遊観光の拠点を形成！



令和2年10月にオープンした宿泊特化型ホテル（御浜町）

- ❖ 「道の駅」パーク七里御浜に観光案内所（外国語対応のインフォメーションセンター）が令和2年6月にオープン。
- ❖ 同年10月には、道の駅に隣接して宿泊特化型ホテル（フェアフィールド・バイ・マリオット・三重御浜）がオープンし、道の駅と連携した地域活性化に期待。
- ❖ 現在は観光目的での三重県内や中部方面からの利用が多いものの、今後高速道路が延伸することで関西方面等遠方からの利用やワーケーションなど様々な生活スタイルに合った利用に期待。



隣接する「道の駅」パーク七里御浜と連携



観光案内所が令和2年6月に開設



地元食材を使用して道の駅で調理したモーニングBOX

自然や景観に恵まれた当地も高速道路整備が進むことで名古屋市等の都市部からのアクセスがより良くなっていくことから、新たなトリップベースとして多くの方に利用してもらうことを期待しています。



【フェアフィールド・バイ・マリオット・三重御浜担当者の声】

～遠方からの観光客が増加～

コロナ禍でもアウトドアで 楽しめるレジャー施設が人気！



飛雪の滝キャンプ場（紀宝町）

- ◆ 新型コロナウイルスによる観光への影響が大きい中、紀宝町にある飛雪の滝キャンプ場では、テントサウナなど新たな取組も相まって、令和3年と比較し、8月の宿泊者数が1.3倍、来場者数が1.3倍と大幅に増加。
- ◆ また、近畿、中部、関東方面など遠方からの来訪も多く、紀勢自動車道・熊野尾鷲道路がアクセス性向上に寄与。



紀勢自動車道・熊野尾鷲道路の延伸により遠方からのお客様が多くなっています。更なる延伸に期待しながら、世界遺産熊野古道や吉野熊野国立公園など地域特有の資源を活かした取組を進めて、更なる地域活性化につなげたいです。

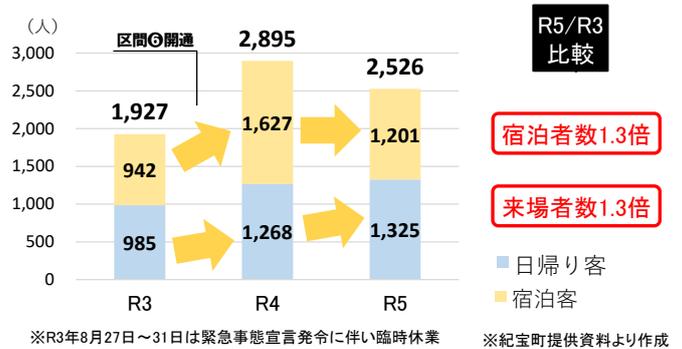
※R4年度ヒアリング結果より作成

[飛雪の滝キャンプ場 管理者]

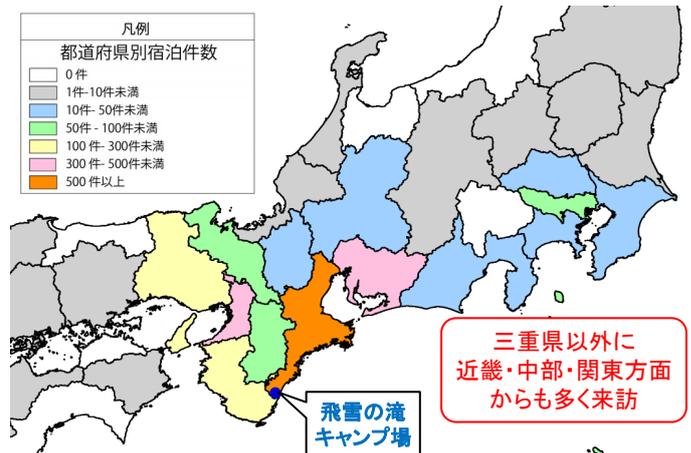


飛雪の滝キャンプ場内のテントサウナ

飛雪の滝キャンプ場 8月の利用者数の変化



宿泊者の居住地(令和3年度)



三重県以外に近畿・中部・関東方面からも多く来訪

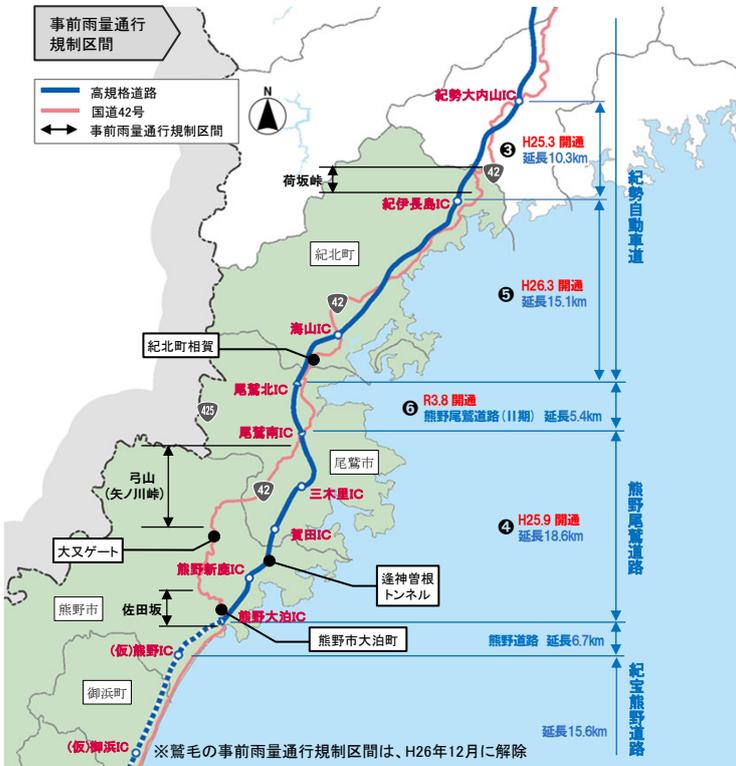
飛雪の滝キャンプ場

※紀宝町提供資料より作成

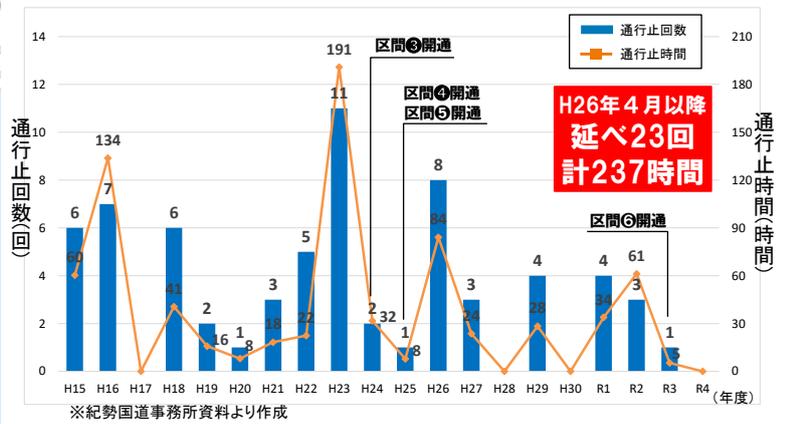
～長年、地域を悩ませた大雨による災害～ 陸の孤島からの脱却！

平成16年台風21号による国道42号の道路崩壊（紀北町）

- ◆平成16～25年度の過去10年間に於ける事前雨量通行規制区間の通行止は延べ38回、469時間。
- ◆紀勢自動車道全線、熊野尾鷲道路開通後の平成26年4月以降も※延べ23回、237時間の通行止が発生しているが、地域経済や地域間交流はストップすることなく、紀勢自動車道・熊野尾鷲道路が国道42号の代替路として機能を発揮。 ※令和4年度末現在



事前雨量通行規制区間における通行止回数と時間



ゲートの前で通行止の解除を待つ渋滞の列



国道42号が通行止でも走行可能な熊野尾鷲道路

尾鷲市は国道42号事前雨量通行規制区間に挟まれ、通行止になると陸の孤島になっていました。現在では国道42号が通行止になっても高速道路があるので、医療・物流・人の移動などすべての面において安心です。

※紀勢国道事務所によるヒアリング調査結果より作成

【尾鷲市 市長公室の声】



H25年法面崩壊(紀北町相賀)



H23年道路崩壊(熊野市大泊町)

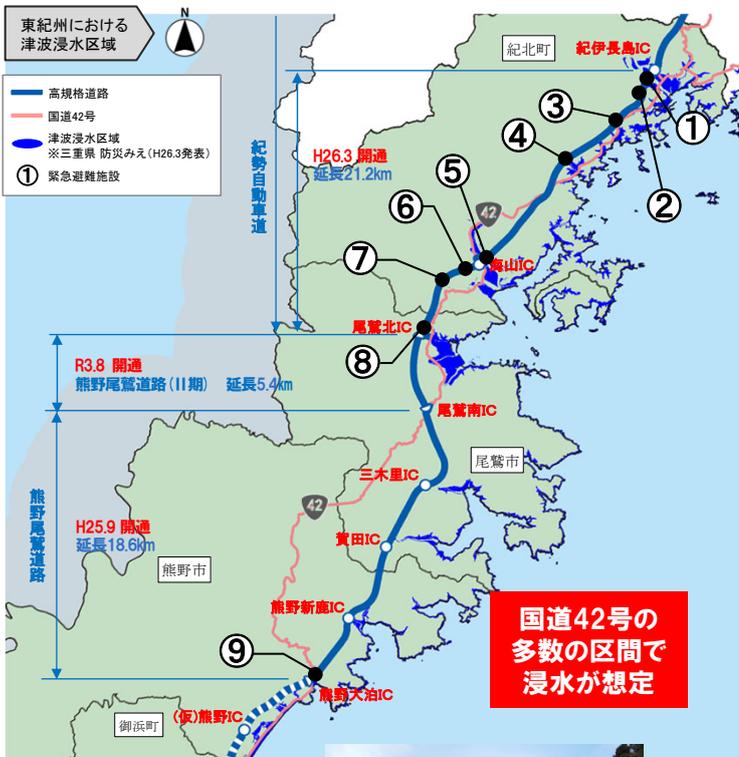
～南海トラフ地震への備え～

津波から地域住民の “いのち”を守る！



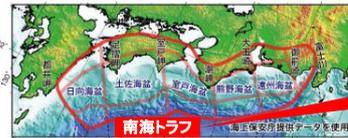
緊急避難施設での訓練状況（紀北町）

- ◆南海トラフ地震による津波被害の備えとして、高台に位置する高速道路の**管理用通路等を緊急避難施設として整備し、自治体と連携を図り活用**。
- ◆紀勢自動車道・熊野尾鷲道路では、**全部で9箇所の緊急避難施設を整備**することで、地域住民の命を守る。

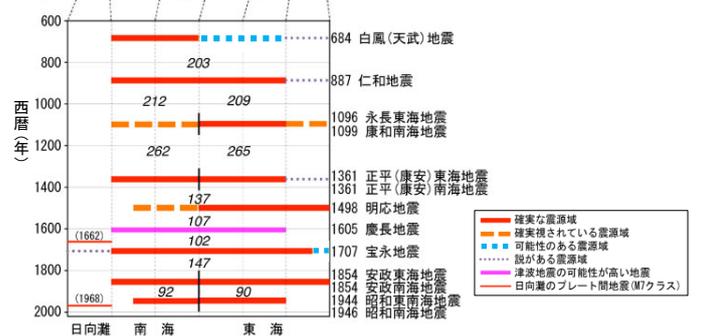


紀北町の緊急避難階段

過去の大規模地震発生状況



南海トラフ地震が
30年以内に
70%～80%の確率で発生



※イラスト 文部科学省
地震調査研究推進本部「南海トラフの地震活動の長期評価(第二版)」(H25.5.24)
※発生確率 文部科学省
地震調査研究推進本部「活断層及び海溝型地震の長期評価結果一覧」(H28.1.1)



昭和東南海地震による津波被害（尾鷲市）

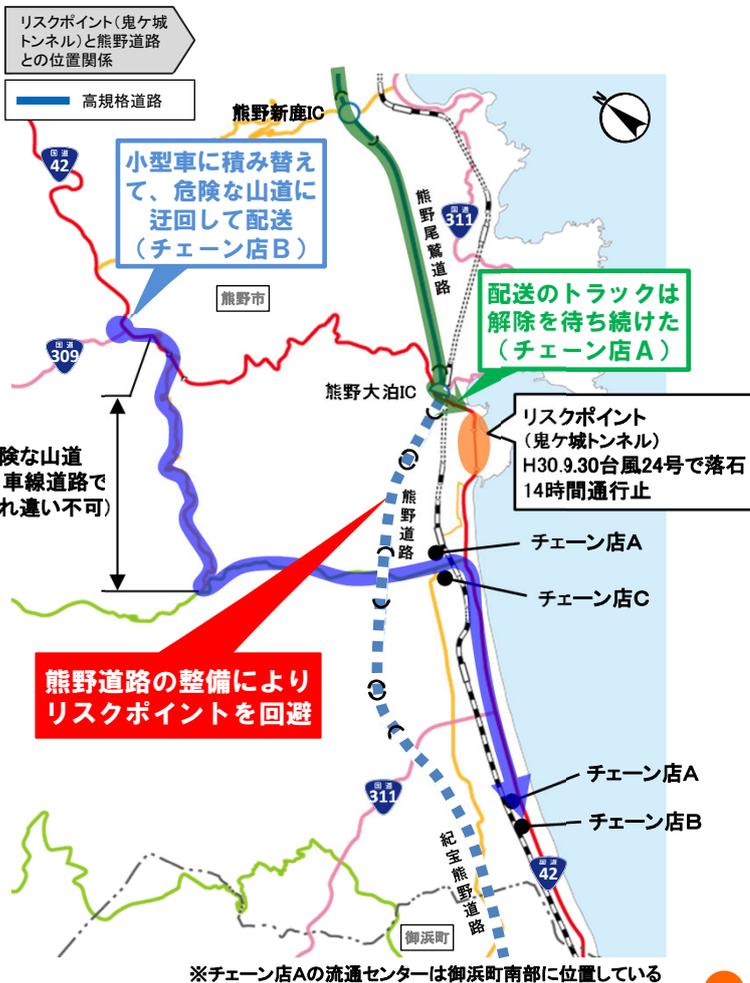
※提供：尾鷲市 撮影：太田金典氏

～熊野道路の早期開通に期待～ 通行止により 日常生活に大打撃！



通行止時の商品陳列状況（熊野市）

- ❖ 平成30年9月30日の台風24号により落石が発生したことで、国道42号鬼ヶ城トンネル付近が14時間通行止となり、尾鷲～熊野間の往來が途絶。
- ❖ 迂回路が狭小であったため、商品を輸送するトラック(10t車クラスの大型車両)は通行できない状況が発生。
- ❖ スーパーの商品流通が寸断され、各店舗において「商品が陳列できない」「売上げが減少」などの影響が発生。



通行止による影響

交通への影響

- ・ 路線バス・高速バスが発発から運休。
- ・ 熊野尾鷲道路にも渋滞が延伸し、最後尾で追突事故が発生。熊野尾鷲道路も通行止となった。



熊野尾鷲道路 熊野大泊IC付近での渋滞状況

物流、店舗への影響

- ・ 商品輸送が10t車トラックであったため、狭小な迂回ルートを利用できず、解除を待つしかない状態に。流通センターの配送エリアである東紀州～田辺地域の15店舗に商品を届けるため、臨時便の手配でコスト増。(チェーン店A)
- ・ 商品を小型車に積み替えて、危険な山道を迂回して配送。(チェーン店B)
- ・ 鬼ヶ城トンネル付近の通行止の影響で、その日の売上げが7割減。通行止で出社できない従業員がいた。(チェーン店C)

野菜・果物などは前日の残りを陳列できますが、肉、魚、惣菜、葉物野菜、豆腐、牛乳などの日持ちしない商品は全く陳列できない状態となり、お客様にご迷惑をかけてしまいました。熊野道路が開通すれば、確実な配送ができると期待しています。



【チェーン店Cの声】

2023.10

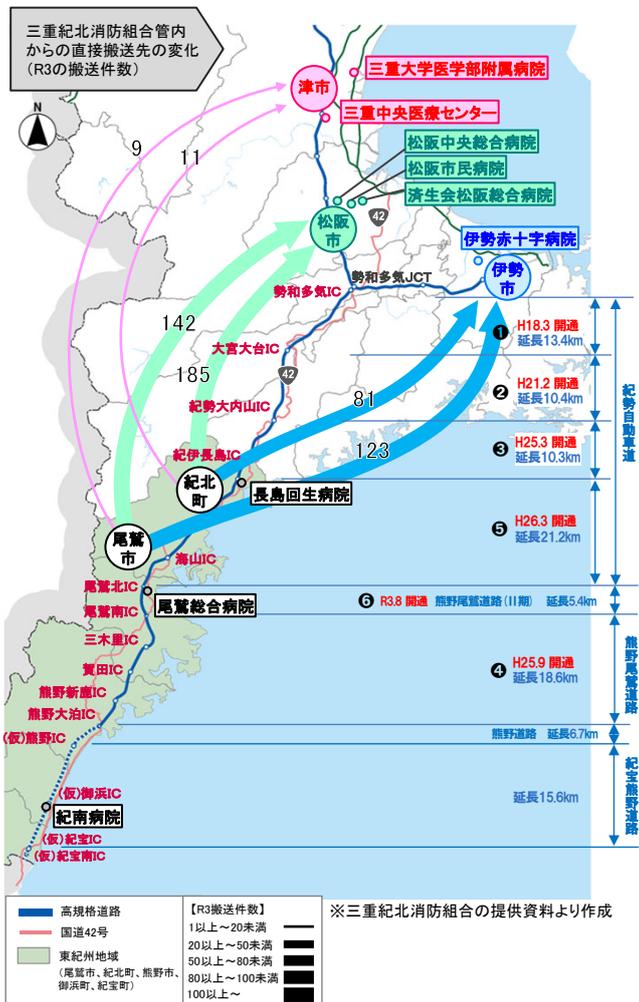


～救急搬送の選択肢が拡大～ “いのち”をまもるため 適切な医療を！



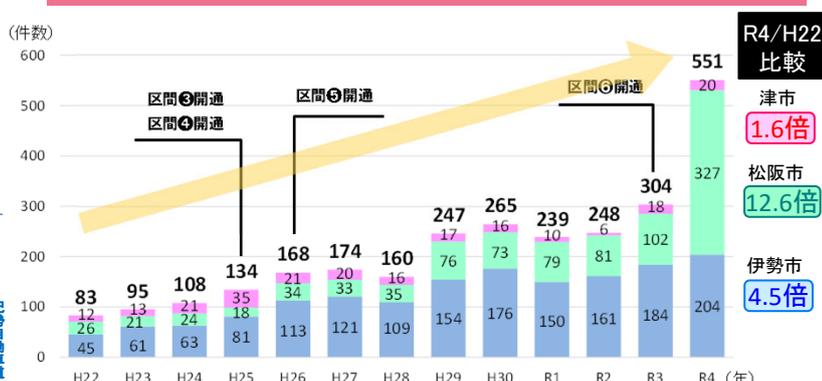
三重紀北消防組合 指令室(尾鷲市)

- ◆ 高速道路の整備により、遠方であっても直接搬送できる医療機関が拡大したことで、患者の状態に応じた適切な医療が可能に。
- ◆ 三重紀北消防組合(尾鷲市・紀北町)管内から津市内の病院への直接搬送件数は1.6倍、松阪市内は12.6倍、伊勢市内は4.5倍に増加。



※三重紀北消防組合の提供資料より作成

三重紀北消防組合(尾鷲市・紀北町)管内からの直接搬送件数の推移



※三重紀北消防組合の提供資料より作成



熊野尾鷲道路(II期)を走行する救急車(尾鷲北IC)

高速道路の順次開通により、遠距離であっても、患者の状態に応じた、より適切な医療が受けられるようになりました。



【三重紀北消防組合の声】
※R3年度ヒアリング結果より作成

～地域企業が開通効果を実感～

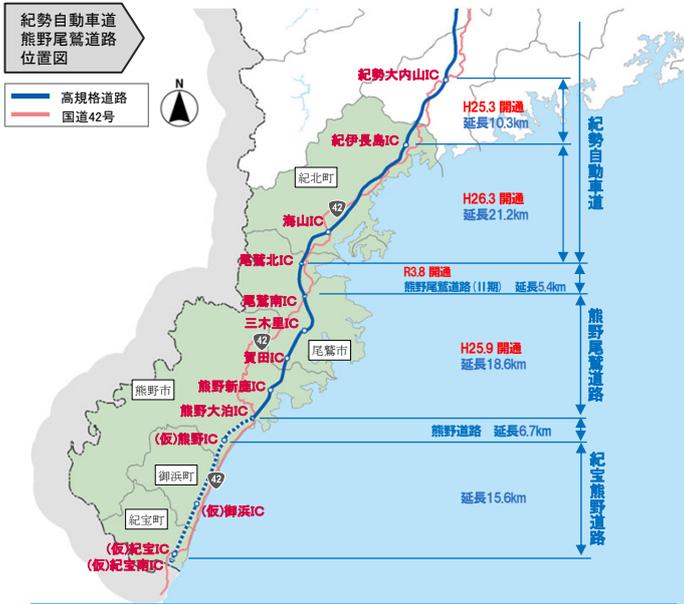
企業活動・業績がプラス！



紀勢自動車道を通行する活魚車（紀北町）

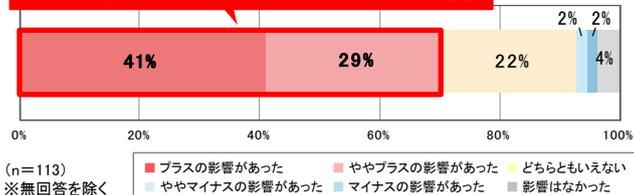
- ◆ 東紀州地域に立地し、製品等の輸送を伴う企業258社※を対象に、紀勢自動車道・熊野尾鷲道路の開通効果に関するアンケート調査を実施し、120社が回答。（回収率：46.5%）
- ◆ 回答企業の9割以上が開通による効果を実感。第1位が「**輸送時間の短縮**」、第2位が「**災害時等のリスク低減**」。
- ◆ また、回答企業の7割以上が、**開通により「業績にプラスの影響があった」と回答。**

※(株)帝国データバンクに登録され東紀州地域に会社が位置し、業種が農業、林業、漁業、鉱業、製造業、運輸・通信業、卸売業に該当する企業

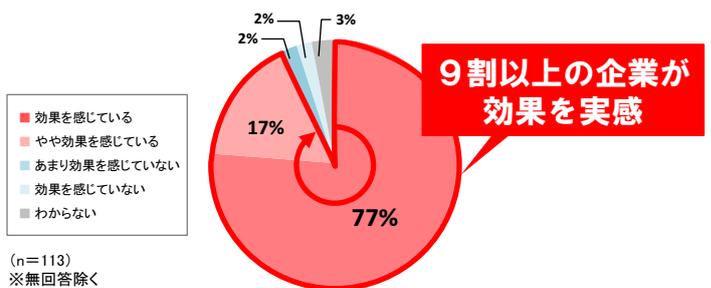


企業の業績への影響

7割以上の企業がプラスの影響

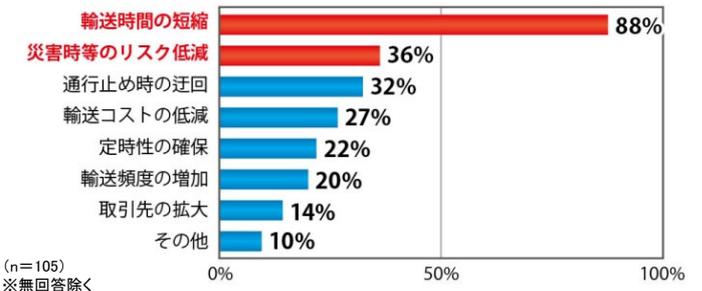


開通による企業活動への効果の実感



9割以上の企業が効果を実感

実感している効果



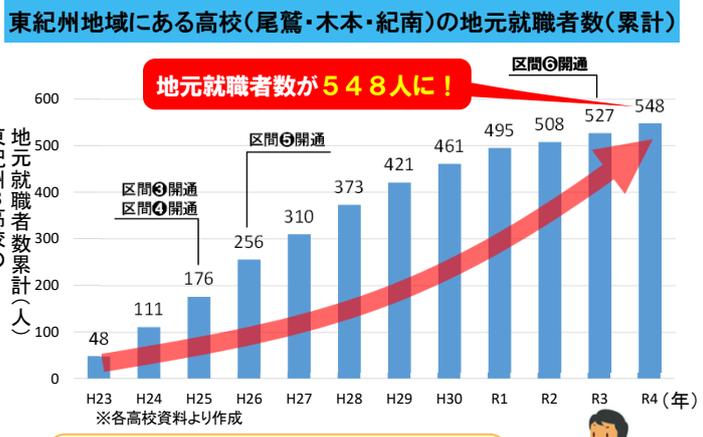
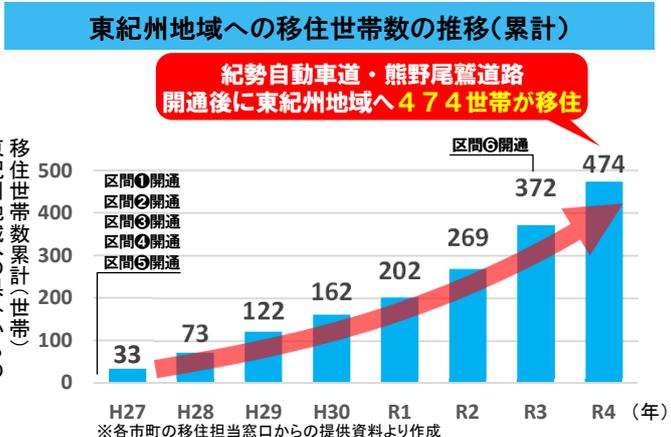
※紀勢国道事務所による東紀州地域の企業を対象にしたアンケート結果より作成
調査日：H27年11月6日(金)配布 同20日(金)回答締切 配布：258社 回収：120社(回収率：46.5%)
※回答を得た業種の内訳は、農業(8)、林業(2)、漁業(11)、鉱業(1)、製造業(41)、卸売業(38)、運輸・通信業(14)、不明(5)



～地域の魅力向上を支援～ I・Uターン世帯や 高校生の地元就職が増加！

銚子川（紀北町）

- ◆三重県・東紀州地域の市町は、I・Uターンなどの移住による地域おこしを目指し、移住体験や現地見学会など各種取組を実施。
- ◆地域の紹介では紀勢自動車道・熊野尾鷲道路の整備によるアクセス向上をPR。
- ◆移住世帯は年々増加傾向にあり、東紀州地域全体では平成27年と比較し、約14倍に増加。
- ◆東紀州地域の高校（尾鷲・木本・紀南）では、地元の企業へ就職する卒業生が着実に増加。



紀勢自動車道・熊野尾鷲道路の整備によるアクセス性の向上が、PRのひとつになっています。



【紀宝町の声】

尾鷲方面からの進学者の増加や高校を訪問する企業が増加しています。また、他地域へのアクセス向上により、県内の企業に就職する生徒が増えました。



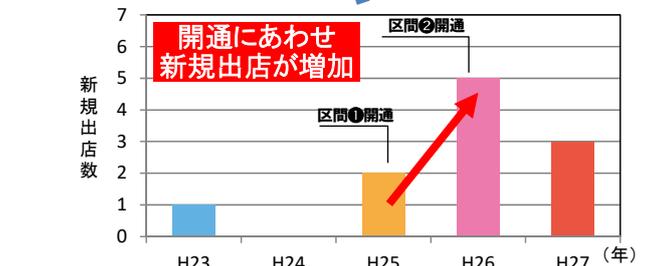
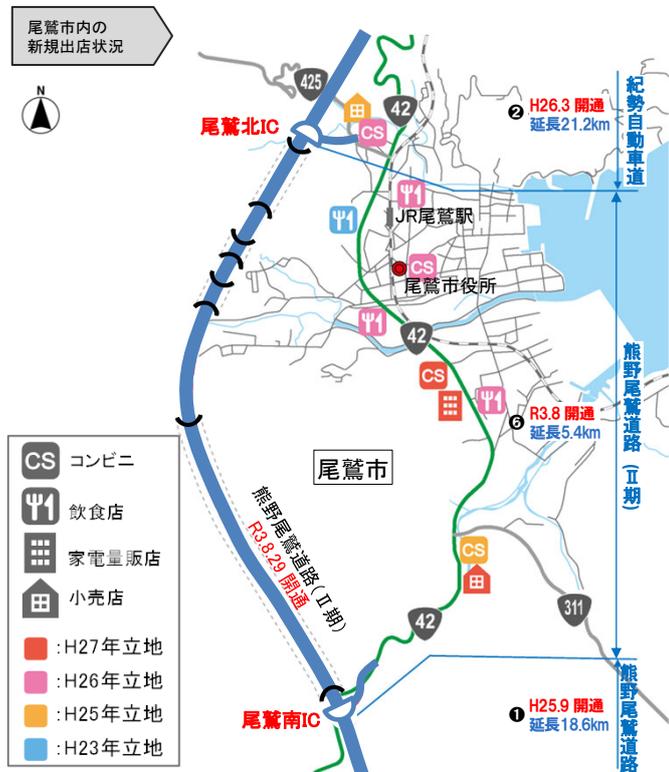
【木本高校進路指導担当の声】

～まちなかに多数の店舗が新規出店～ にぎわいが創出され 新規求人数も増加！



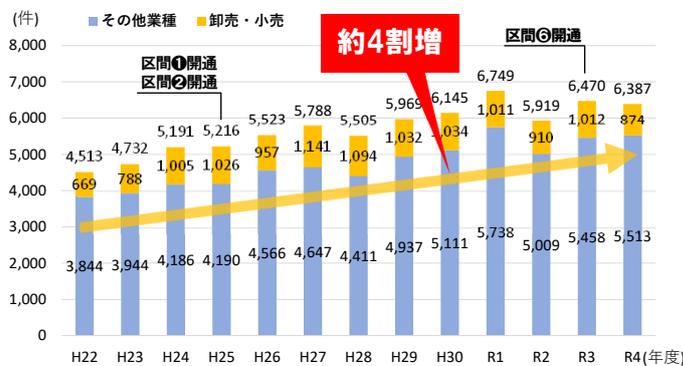
国道42号沿道の状況（尾鷲市）

- ◆ 高速道路の開通に合わせて、尾鷲市内の国道42号沿道には多数の店舗が**新規出店**。
- ◆ まちの“にぎわい”が創出されるとともに、**卸売・小売業の新規求人数も年々上昇**し、地域の雇用が創出。

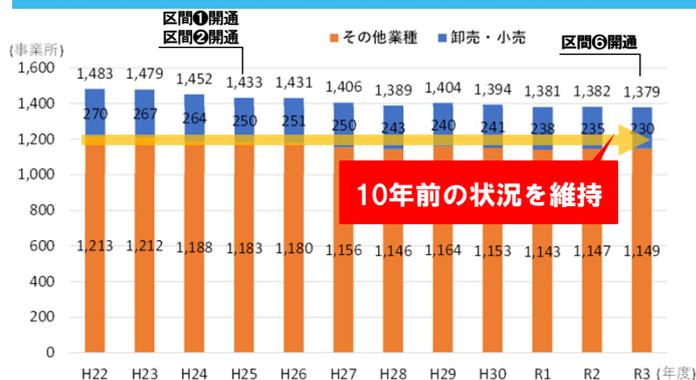


※尾鷲市提供資料より作成
※尾鷲市内での移転は除く

東紀州地域の新規求人数の推移(卸売・小売業、その他)



東紀州地域の事業所数の推移(卸売・小売業、その他)



※三重工務局職業安定部職業安定課提供資料より作成
※事業所数は雇用保険適用事業所のみ
※データは各年3月31日現在

新規出店した理由としては、**通行止がなく、商品の安定的供給の面も大きいですが、時間短縮が一番のメリット**です。高速道路が開通した影響は非常に大きいと感じています。

※紀勢国道事務所によるヒアリング調査結果より作成



コンビニエンスストアの声

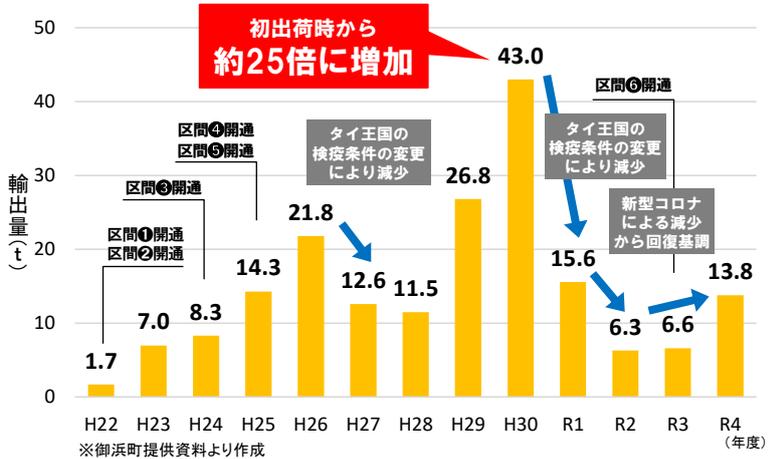


「三重南紀みかん」の販売状況(タイ王国)

- ◆ JA伊勢は、地域の温暖な気候を活かした柑橘類の生産とブランド化を推進し、近年、「三重南紀みかん」をタイ王国へ輸出。（高級デパートで富裕層をターゲットに販売）
- ◆ 高速道路の開通により、峠道の揺れによる荷傷みが少なくなるなど安定輸送が実現し、平成30年度には輸出量が初出荷時の約25倍に増加。



「三重南紀みかん」のタイ王国への出荷量の変化



道路構造の変化



選果場から卸売会社までの輸送時間の誤差が少なくなったため、流通過程で仲卸加工に要する時間や量販店までの納入時間が読みやすくなり、**時間に対するロスが軽減**されました。また、量販店等の取引先の**要請時間に合わせた出荷が可能**になったため、**取引先の拡大と売り場の確保**が可能となりました。近年、道路開通と生産者の努力が合わさり、**痛み等のロスが減少**しました。



【JA伊勢の声】
※JA三重南紀は現在JA伊勢に名称変更

※紀勢国道事務所・御浜町によるヒアリング調査結果より作成

～精密製品の安定輸送が実現～
地方の高い技術力で
日本の住宅火災を守る！



業界シェアNo.1
 (※パナソニック調べ)



パナソニック エレクトリックワークス電材三重(株) 紀宝工場

- ❖ 業界No.1のシェアを誇り、日本全国で使われているパナソニック製住宅用火災警報器を紀宝町内の工場で製造。
- ❖ 高速道路の開通により、精密製品の安定輸送が可能となり、品質確保を支援。
- ❖ 輸送インフラの整備を見据え、工業団地に進出するとともに増築により事業規模を拡大。今後の更なる雇用創出や地域活性化に期待。



井内工業団地への進出

事業規模を拡大 (R2.12竣工、投資額 約30億)

井内工業団地に進出したパナソニック エレクトリックワークス電材三重(株)

操業時 (H27.8) から現在 (R5.4) までに 雇用者が約220名増加

物流拠点へのアクセス時間短縮

精密製品の安定輸送

輸送コスト削減

更なる雇用創出 地域活性化に期待

高速道路の開通に伴い事業規模を拡大

自然豊かで製品の輸送インフラも充実してきたこの町で、雇用創出に貢献したい。

パナソニック エレクトリックワークス電材三重(株)の声

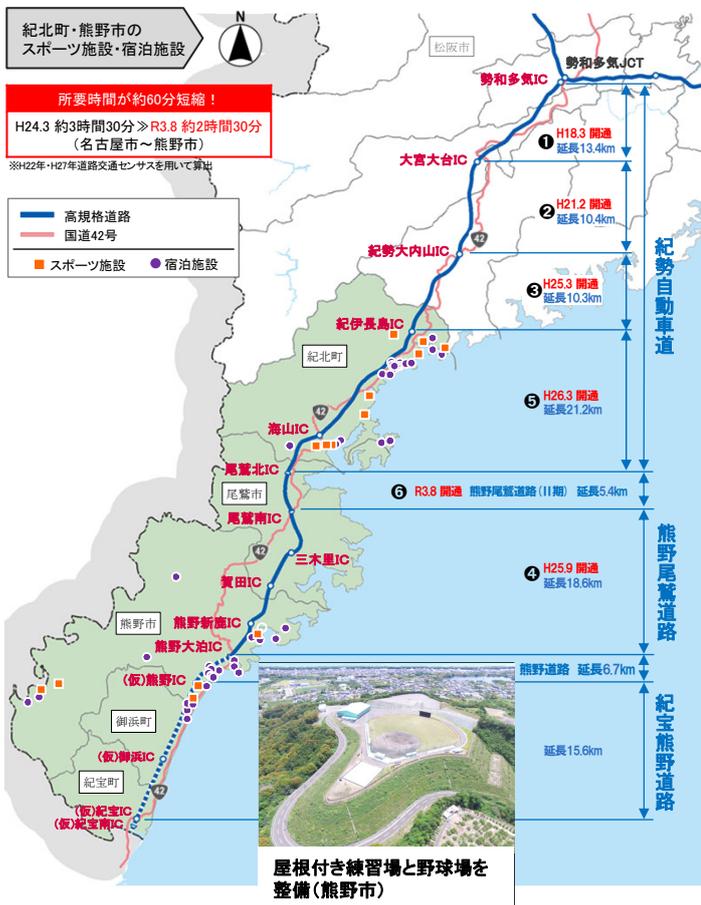
～スポーツ交流地としてのブランド化を推進～

スポーツ交流宿泊者数が 過去最高を記録！

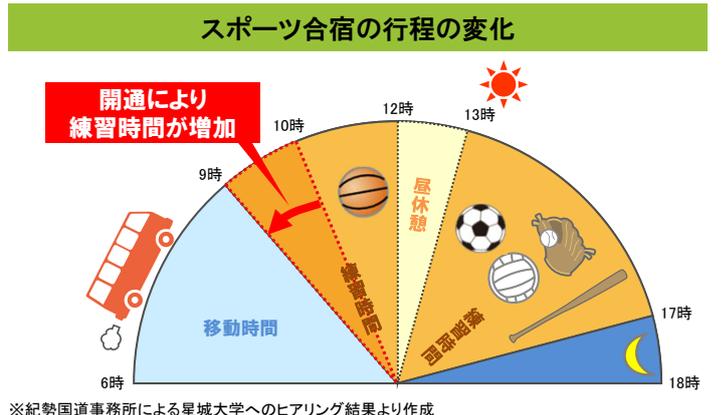
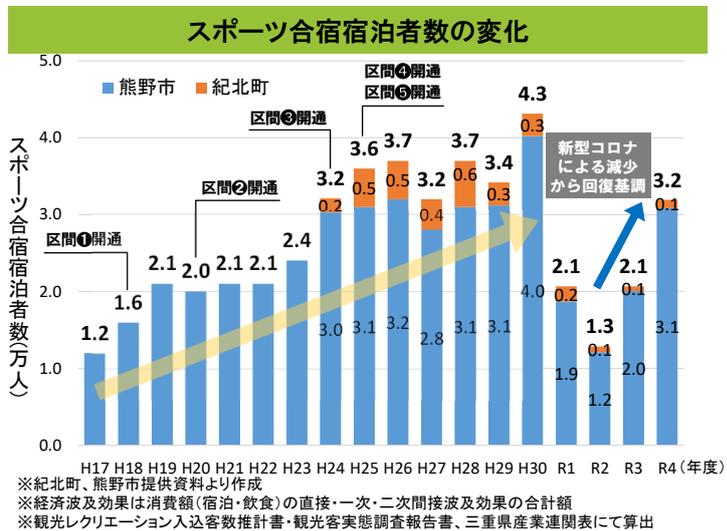


熊野SUPマラソン2015（熊野市）

- ◆ 高速道路の延伸に伴う交流圏域の拡大と温暖な気候条件を活かし、紀北町・熊野市では**スポーツ交流地としてのブランド化を推進**。
- ◆ 世界少年野球大会をはじめとする全国的なスポーツ大会が開催されるなど、**スポーツ合宿宿泊者数**は高速道路未整備時である平成17年に比べ、紀勢自動車道及び熊野尾鷲道路開通後の平成30年には、**約3倍に増加し過去最高を記録**。



※紀北町、熊野市のHPIに掲載されているスポーツ施設、宿泊施設を記載



東紀州地域高速道路整備効果

紀勢自動車道・熊野尾鷲道路は令和3年8月29日に全線開通し、
ストック効果のとりまとめについては、これまで
国・高速道路会社・県・市町協力のもと進めています。
東紀州地域では高速道路の開通以前より実施されてきた
自治体・民間による投資や、キャンペーン等の取組の結果、
観光入込客が過去最高を記録するなど、
様々なストック効果※が現れています。

高速道路の開通がもたらす様々な暮らしの変化や整備効果を
「国・高速道路会社・県・市町が一体」となって幅広く調査・分析する事で
「個々では見えなかった効果」などを把握し、それを広くPRする事により、
東紀州地域の更なる地域活性化・地方創生に寄与するものと期待します。

※ストック効果：整備された社会資本が機能することによって、継続的に中長期的に得られる効果



三重県



尾鷲市



熊野市



紀北町



御浜町



紀宝町



中日本高速道路(株)



国土交通省



高速道路開通を祝う行燈（熊野市）

東紀州地域高速道路整備効果検討会



三重県



尾鷲市



熊野市



紀北町



御浜町



紀宝町



中日本高速道路（株）



国土交通省